

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大空小	学校	児童数	46
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.48	19.18	36.83	39.30	41.64	9.58	148.00	22.35	52.60
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.86	17.19	40.48	36.85	31.26	9.79	141.25	15.25	53.42
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

実技別では、男女ともに長座体前屈、ソフトボール投げで全国、大阪市を上回っており健闘している。男子は上体起こしと体力合計点でも全国、大阪市を上回っており、健闘ぶりがうかがえる。女子は立ち幅跳び、体力合計点が全国には少し届かないまでも大阪市は上回っている。その他の実技では、握力、20mシャトルランで記録が伸びていない。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況は、男女ともに全国、大阪市を下回っている。また、「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」については、男子が全国、大阪市よりやや多い割合、女子が全国、大阪市よりかなり多い割合である。これらは、女子の運動が好きでない割合が高いことが起因している。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、個々の体力差が大きく、普段から運動に親しんでいる子どもと、体をあまり動かさない子どもとの差がはっきり表れている。「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間をもちたいと思いますか」「体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか」の質問に対して、男女ともに全国、大阪市を下回っている。このことからわかるように、生涯スポーツにつながる体育や運動の楽しさの観点は十分に育っていないと考える。

これまでの本校の積み重ねてきた体力づくりでは、音楽に合わせた準備運動を体育学習で取り入れたり、運動を自分で選ぶ体力づくりを行ったりするなど、運動が苦手な子どもでも嫌にならないように意識して取り組んできた。よって、個に応じて楽しく体を動かすことは浸透している。今回の結果を鑑みて、今一度体育の授業をつくる指導者が体育に対する意識を改める必要がある。